**精神障害に対する偏見はなぜあるか？**

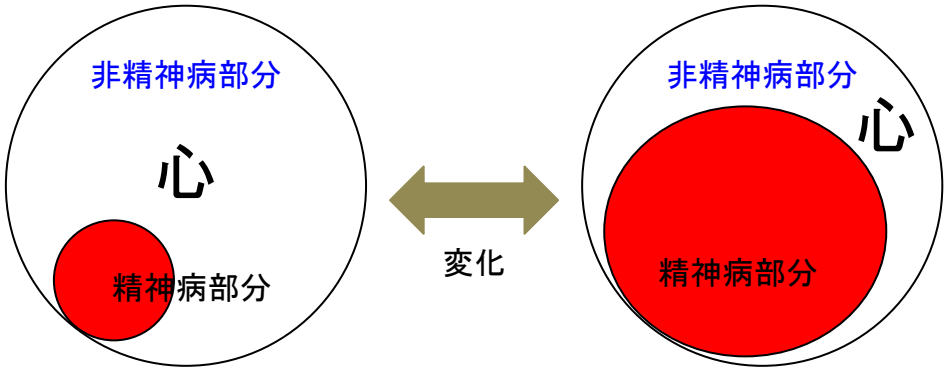
精神分析家 Bion は、理性的合理的な「非精神病部分」と自分でコントロールできない「精神病部分」とに心が二つに分かれていると言いました。健康な心では非精神病部分が大きく精神病部分が小さく、病的な心ではその逆になっているというのです。そしてそれは様々な心理的ストレスなどでより病的になったり、より健康になったり固定されず常に変化するのです。また実はそうした「精神病部分」は誰の心の中にもあり、それが自分の心のコントロールを失うことへの強い怖れを起こさせるのです。そうなると精神病部分を否定したい気持ちが強く起こり、患者さんでは「自分は病気ではないと」強く病気を否定し治療を拒否したり、一般の人でも精神障害は怖い、見たくないという気持ちを起こします。それが精神障害に対する偏見を起こす理由なのです。

**心（人格）についての考え（Bion）**

**心は２つの部分に分かれている**

理性的、合理的な部分　→　非精神病部分

自分でコントロールできない部分　→　精神病部分




より健康な心　　より病的な心